

令和5年度 事業報告

1. 総括

敬川拠点(ショートステイ)の利用率低迷が、法人の運営を危機的状況にしている。敬川拠点は、職員不足の解消と、職員育成を必死に取り組んだものの、利用率は微増に留まっている。高野拠点は特養の待機者ゼロの状況を、ショートステイの空床利用で良くカバーしている。

両施設において、職員不足・利用控えによる需要減少・物価高騰と経営環境は厳しさを増しているが、全職員の精励によりなんとか持ちこたえて運営できている。新型コロナについては、今年度も両施設でクラスターが発生したが、職員の協力で乗り切ることができた。

2. 組織体制等

【高野】

昨年度より、職員・新人職員の育成・「人を育てる風土を育てる」(職員の離職防止を含めた)という目的に沿って面談・研修を進めている。職員が成長することでやりがい・定着に繋がると考えている。今年度、介護支援専門員と管理栄養士を新規採用、在職者より、2名が介護福祉士の資格を取得と職員の成長にはつながっていると思われる。

利用率については、今年度当初より特養の空床が増え待機者も無く利用率が上がらなかったが、短期利用者の空床利用でいくらかカバーできた。

令和6年2月にコロナ感染症によるクラスターが発生した(利用者12名、職員12名)。常時職員人員不足だが、現在、複数の非常勤職員でなんとか対応している。

【敬川】

令和4年4月より介護係長、介護主任を配置し(以前は特養主任・ショート主任)、特養とショートで垣根のない風通しのよい組織体制を構築しようとしているが、2年経過した現在も道半ばである。特養とショートの間での人事異動は実施しやすくなってきているものの、2年前にショート主任と(前)生活相談員が退職して以降、ショート職員の8割が入れ替わり、職員を育成しつつショートの立て直しを図っている。

職員不足のなかで求人に応募がない状況が続き、令和5年4月より外国人職員4名を採用した。採用した外国人職員を育成し、やっと交替勤務が可能になった令和6年1月初旬に外国人職員1名が退職した。また令和6年度に入っても外国人職員2名が退職を予定している。とても苦しく悔しい状況ではあるが、日本人職員の採用をおおく期待できないなか、今後も外国人職員の採用を続けていかざるを得ない。

新型コロナについては、令和6年1月下旬にクラスター(職員3名・利用者様3名)が発生した。令和5年度通算では職員7名・利用者3名が新型コロナ陽性となった。

3. 勤務体制（職員の動向）

【高野】

新規採用者：介護支援専門員(常勤)1名・管理栄養士(常勤)1名・
介護職員(非常勤)1名・介護補助職員(非常勤)1名・
介護補助営繕(非常勤)1名・厨房職員(非常勤)1名

退職者：介護職員(常勤)1名・介護職員(非常勤)1名・
介護補助職員(非常勤)1名・厨房職員(非常勤)1名

3月末現在：介護職員(常勤)13名,(非常勤)8名、介護支援専門員(常勤)1名、
管理栄養士(常勤)1名、看護職員(常勤)1名,(非常勤)1名、
厨房職員(常勤)3名,(非常勤)2名、事務職員(常勤)4名
合計 34名

【敬川】

新規採用者：介護職員(常勤)8名

退職者：介護職員(常勤)6名

3月末現在：介護職員(常勤)25名,(非常勤)1名、看護職員(常勤)4名、
機能訓練指導員(常勤)1名、介護支援専門員(常勤)1名、栄養士(常勤)1名、
生活相談員(常勤)1名、事務職員(常勤)4名,(非常勤)1名
合計 39名(3月末の退職者2名含む)

4. 利用実績・職員研修・年間行事・その他

別紙のとおり

5. 設備、備品等の改廃状況

【高野】

居室（20部屋）の第2期空調設備の修繕。軽トラック・公用車の買い替え。

【敬川】

エアコン修理(2回)、玄関自動ドア戸車取替、厨房電磁調理器修理、玄関横防水コン
セント設置、業務用洗濯機排水漏水修理、非常用発電機修理交換、火災感知器取替、
誘導灯取替、加圧吸水ポンプ修繕、受水槽ボールタップ取替、個浴昇降ユニット修理、
電気温水器修理、就業給与ソフト更新、パソコン(1台)購入、食器洗浄機(厨房)購入、
介護ソフト更新、電子レンジ(1台)購入、ポータブルトイレ(6台)購入、センサーマット
(2台)購入、炊飯器(1台)購入、離床センサー(1台)購入、移動バー(1台)購入、床置き手
すり(1台)購入。

6. 建物等修理・修繕状況

【高野】 建物修繕はなかった。

【敬川】 ナースコール設備を更新した。